

# 京大地球物理学研究の百年(Ⅱ)

編者：竹本修三・廣田 勇・荒木 徹

(2010年10月25日発行)

# 集録:京大地球物理学研究の百年(II)

## 目次

はじめに	1
<b>1. 帝国大学時代の京大地球物理学研究</b>	
1-1 山元龍三郎・竹本修三: 志田 順 先生の足跡を追って	2
1-2 竹本修三・津村建四朗: 志田順から今村明恒に宛てた手紙(1911年)に関して	6
1-3 (史料) 志田順: 別府地球物理研究所開所式における謝辞 (地球物理、第一巻、第1号(1937)より転載)	10
1-4 (史料) 高橋淳雄: 野満隆治先生と海洋学 (海の研究、第一巻、第5号(1992)より転載)	16
<b>2. 戦後の京大地球物理学研究</b>	
2-1 鳥羽良明: 京大海洋物理学分野の歴史的展望 — 講座の始まり、野満・速水・国司・今里教授の時代から現在への発展 —	19
2-2 杉本隆成・柳哲雄・遠藤修一・今脇資郎・市川 洋: 京大地球教室が貢献した海洋物理学研究の流れ	25
2-3 奥西一夫: 速水頌一郎先生に始まる京大防災研の陸水学研究	29
2-4 由佐悠紀: 別府を中心とした陸水学・温泉学研究的系譜	33
2-5 住友則彦: 京大の地震予知研究	37
2-6 入倉孝次郎: 京大の強震動研究	41
2-7 三雲 健: 「気圧微変動」のその後 — 大地震、津波、火山大爆発などから発生した気圧波 —	45
<b>3. 外から見た京大</b>	
3-1 佐藤 薫: MU レーダーから PANSY へ	55
3-2 寺沢敏夫: 宇宙プラズマ物理学 — 京都と東京	60
3-3 入船徹男: 地球深部の超高压研究 — 京都から松山へ	64
3-4 安藤雅孝: 雑感 — 台湾に来て考えたこと	67
<b>4. 海外共同観測・国際貢献</b>	
4-1 竹本修三: 地物教室測地学分野の海外観測・国際貢献	70
4-2 橋爪道郎: 海外における地球物理観測 — 京都大学の貢献	75
4-3 深尾昌一郎: 赤道大気レーダー建設の意義と経緯	80

## 5. 南極観測

5-1 北村泰一：日本南極観測黎明期における京都大学のかかわり	84
5-2 伊藤 潔・金尾政紀：南極昭和基地周辺における地下構造調査と地震観測	94
5-3 福田洋一：南極の重力・GPS 測定	98
5-4 佐藤和秀：南極氷床を探る ―雪氷の世界から―	102
5-5 岩野祥子：2回の越冬で感じたこと	107
5-6 尾池和夫：理学部の教授室から南極観測を見る―送り出す側から―	111
(表) 南極観測隊：京大関係参加者リスト	114

## 6. 研究環境の周辺

6-1 戸田 孝：地物教室の電子ネットワーク化	117
6-2 住友則彦：京大教養部地学実験が果たした役割	120
6-3 竹本修三：阿武山観測所・地物教室と防災研究所の工作室―人と機械― (付記) 上賀茂地学観測所時代の今井 溱 氏	123
6-4 林泰一：防災研究所の気象・海洋分野の観測と技術職員	129

## 7. 総説

7-1 廣田 勇：「自由の学風」という幻想	131
7-2 加藤 進：「京大地球物理学研究の百年」に思う	134
7-3 北村泰一：広野求和先生とぼく	136
7-4 荒木 徹：阿波丸事件と京都大学	138

## 8. 資料

(表) 京大地球物理学研究の歴史に関する文献	142
(表) 在職教員リスト (改訂版)	144

おわりに	151
------	-----

京大地球物理学研究の百年(Ⅱ)

発行日: 2010年10月25日

発行者: 京大地球物理の歴史を記録する会

編者: 国際高等研究所 竹本修三

京都大学名誉教授 廣田 勇

京都大学名誉教授 荒木 徹

(非売品)